

平成 27 年度 自己評価結果公表シート

第一すみれ幼稚園

1、本園の教育目標

子ども達一人一人が楽しみながら思考力を高め、創造力や判断力を培う事につとめ、絵画・音楽教育、基礎的な体力づくり等の充実した保育内容で「明るいすなおな子ども」に育っていくよう日々の保育に取り組む

本園の教育目標

- 1、 明るい豊かな心をもった子ども
- 2、 「ありがとう」とすなおな心をもった子ども
- 3、 どんなことにも負けない我慢強い子ども
- 4、 健康で心身ともに活動的な子ども

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園教育の充実を図るために、保護者のニーズをより細かく確認しながら幼稚園教育の役割を教職員全体では把握し、幼稚園でしか出来ない教育を探究する。幼稚園でこそ出来る教育を提供する。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
健康と安全への配慮	一年を通して怪我が多く、後からの対応となつては危険な場所などを事前に見極め対応していくことが大切である。少人数の子どもの変化にもすばやく気付いて迅速に対応していきけるように声をかけていく。
一人一人の幼児の成長を支援するため 教職員が共通理解をもって関わる	各担任で個人記録はとっているが、形成及び内容が担任任せになってしまっている。園独自の個別記録を作成し、形成を定めることで、子どもを見る視点の共有化を図るよう努める。
子どもの主体的な活動を展開するための 保育方法を工夫する	新しい事を取り入れるのは難しいところあり、なかなか子ども同志の活動展開が充実にく、教師からの提示に頼ってしまった。教師一人の保育内容を充実させていくべきだと感じた。
教員自身の成長の為、研修の充実を図る	研修に多く参加し、教師一人一人のスキルアップにはなったが、教師間での意見交換がなかなか出来ず園全体の成長にはならなかった。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

自らの教育・保育に対し教職員同士で話し合いを持ち、客観的な視点で互いに指摘し合い反省してきた。今後も更に充実した実践保育が本来のように努力を積み重ねていきたい。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
指導計画の編成	指導計画を作成する際に、園を取り巻く環境や子どもの実態に即した新たな指導計画の編成に取り組んでいく。
安全確保	子ども達の活動に伴う安全への配慮や注意喚起を最優先し特に新入園児の安全に気を配る
子ども自身が「考える」ことを大切にしたい保育を心がける	考える機会、手立てなどを子どもと一緒に順を追って経験する。

6、学校関係者の評価

新園舎での幼稚園生活が始まり子ども伸び伸びと楽しく過ごしている様子が見られる。先生方も一人一人が園児達と向き合いどんな事でも乗り越える事が出来る様になっている。

7、財務状況

経理における各種帳簿も正確に記帳されており適正に運営されています。